

2023年度 ちゅらま〜み(腎)プロジェクト NEWS LETTER



発行元:うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み(腎)プロジェクト
(CKD・糖尿病性腎臓病予防に向けた病診連携登録医事業)事務局

令和5年5月発行

報告 ① ●病診連携推進・評価委員会 報告

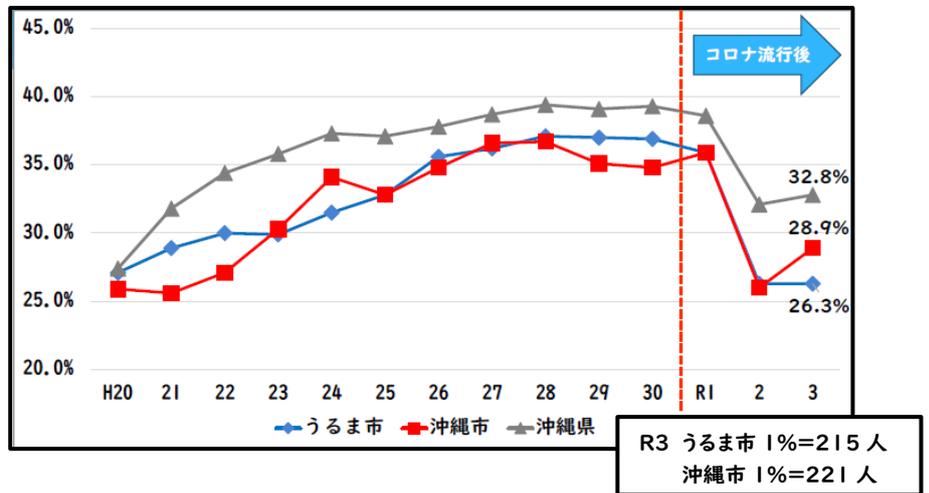
令和5年2月22日(水)ハイブリッド方式(会場・ZOOM)にて、令和4年度 第2回評価委員会を行いました。
主な議題として、今年度の事業実施状況や事業評価等の報告、事業の5年目評価等について、活発な意見交換が行われました。



報告 ② 特定健診受診率(うるま市・沖縄市) データ)国保連合会 R3年度特定健診受診率・特定保健指導実施率(確定値)

右図は、平成20年度から令和3年度までのうるま市、沖縄市、沖縄県の特健診受診率です。

令和2年度から、新型コロナウイルス流行の影響で、受診率が大幅に減少しています。令和3年度の受診率は回復傾向にありますが、新型コロナウイルス流行前の水準には達していない状況です。



●健診からの受診勧奨件数(平成30年度~R4年度 途中まで)

健診結果で、下記の基準を満たす方に受診勧奨を実施しました。

紹介基準 要医療判定 ●eGFR45未満 ●尿蛋白(1+)以上 ●尿潜血(2+)以上

うるま市

	H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			R4年度(途中経過)		
	CKD登録医	腎診療医	対象者	CKD登録医	腎診療医	対象者									
対象者	188	130	58	163	119	44	245	217	28	238	210	28	116	93	23
受診勧奨者	134	87	47	126	92	34	165	139	26	181	162	19	93	75	18
介入率	71.3%	66.9%	81.0%	77.3%	77.3%	77.3%	67.3%	64.0%	92.9%	76.1%	77.1%	67.9%	80.2%	80.6%	78.3%
医療受診者	96	58	38	62	44	18	90	71	19	124	109	15	51	40	11
受診率	71.6%	66.7%	80.9%	49.2%	47.8%	52.9%	54.5%	51.1%	73.1%	68.5%	67.3%	78.9%	54.8%	53.3%	61.1%

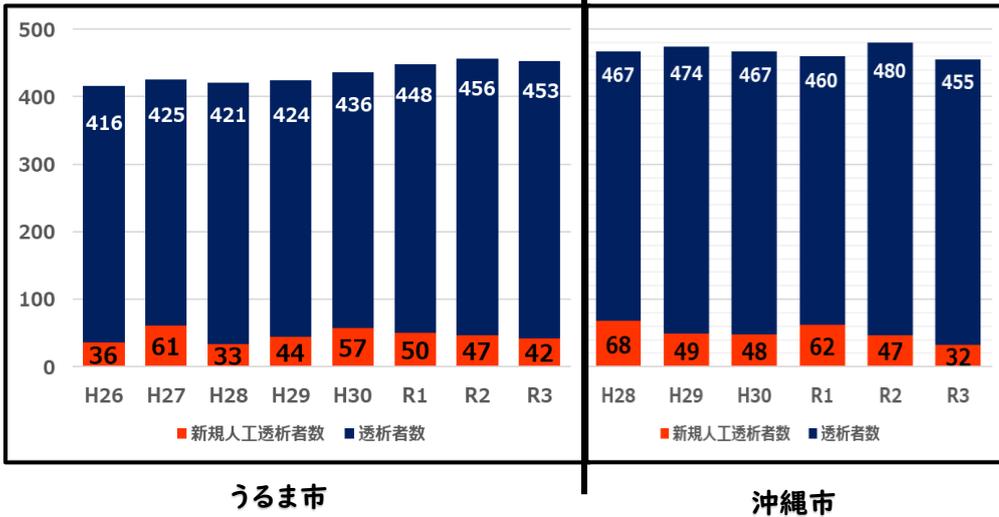
沖縄市

	H30年度			R1年度			R2年度			R3年度			R4年度(途中経過)		
	CKD登録医	腎診療医	対象者	CKD登録医	腎診療医	対象者									
対象者	339	214	122	250	190	60	258	237	21	295	270	25	182	166	16
受診勧奨者	208	142	66	134	105	29	226	207	19	246	225	21	108	95	13
介入率	61.4%	66.4%	54.1%	53.6%	55.3%	48.3%	87.6%	87.3%	90.5%	83.4%	83.3%	84.0%	59.3%	57.2%	81.3%
医療受診者	126	78	48	65	48	17	136	123	13	137	122	15	48	41	7
受診率	60.6%	54.9%	72.7%	48.5%	45.7%	58.6%	59.9%	59.1%	68.4%	55.7%	54.2%	71.4%	44.4%	43.2%	53.8%

※うるま市、沖縄市ともに、R4年度は10月末時点までの健診結果に対する支援状況を掲載。

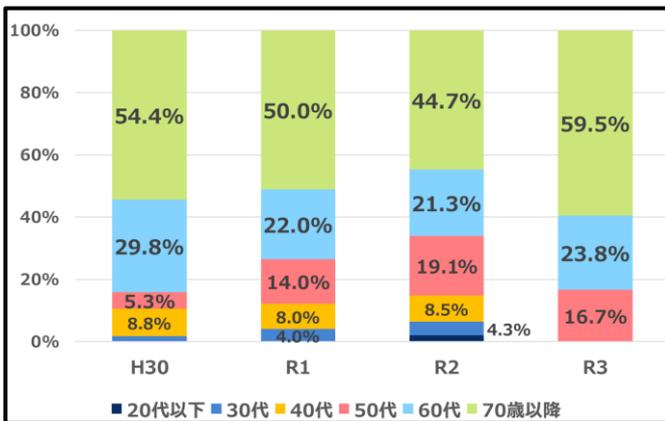
R3年度は、うるま市は介入率76.1%、精査受診率68.5%で、
沖縄市は介入率83.4%、精査受診率55.7%となっています。
両市とも、精査未受診者へのアプローチが今後の課題です。

●人工透析患者の推移



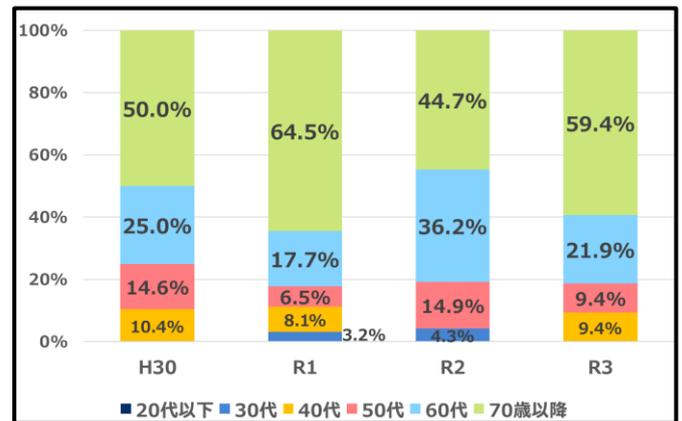
R3 年度の人工透析導入者は、うるま市 **453** 名(うち新規 **42** 名)、沖縄市は **455** 名(うち新規 **32** 名)で、両市ともに前年度より減少しています。

●新規透析導入者の年代別推移 (うるま市)



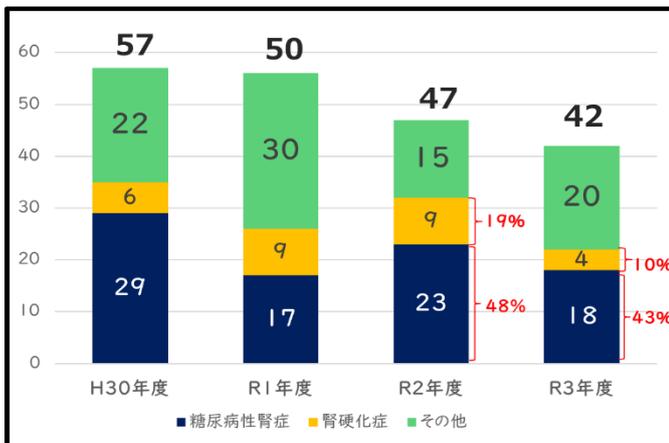
R3 年度は、40 代、50 代の割合が R2 年度と比べて減少し、70 代以上の割合が顕著に増加しています。

(沖縄市)



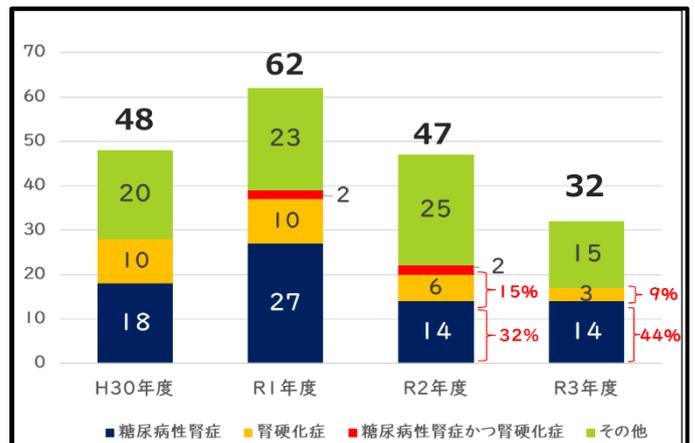
R3 年度は 50 代、60 代の割合が R2 年度と比べて減少し、70 代以上の割合が増加しています。

●新規人工透析導入者のうち、糖尿病性腎症、腎硬化症に占める割合 (うるま市)



糖尿病性腎症・腎硬化症の割合が減少していますが、新規人工透析導入患者全体の約 50%の原因を占めています。

(沖縄市)



全体の約 50%を糖尿病性腎症・腎硬化症が占めており、糖尿病性腎症は前年度より割合が増加しています。

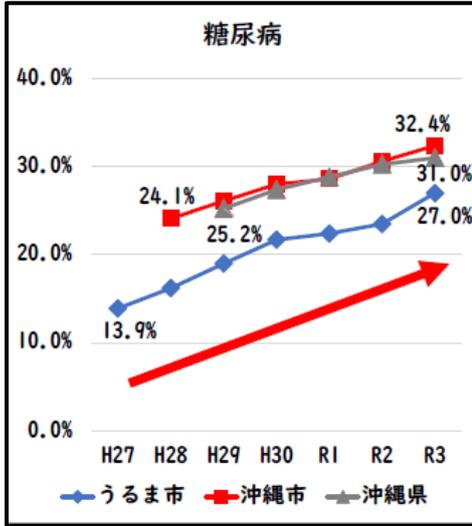


疾患別 治療中断者割合(国保のみ)

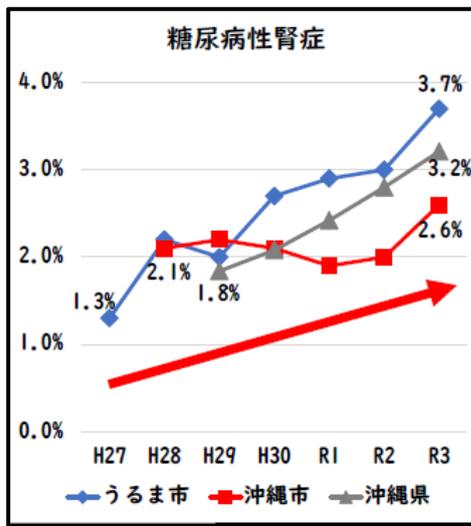
④ データ) 保険者データヘルス支援システム「糖尿病評価表」より



●糖尿病



●糖尿病性腎症



対象者(分母)

特定健診受診者で、下記の条件のいずれかを満たす人になります。

- 糖尿病未受診者
- 糖尿病治療中断者
- 糖尿病または糖尿病性腎症で治療中

該当者(分子)

特定健診受診者のうち、レセプト上で糖尿病もしくは糖尿病性腎症と診断された方で、当該疾患での受診が1年間無い人を中断者としています。

国保の対象者で治療中断者の割合は、両市とも年々増加傾向です。



令和4年度事業報告(R4.12月~R5.3月)

前年度同様に徹底した感染症対策とオンライン(ZOOM、YouTube)を活用し、以下の事業について実施致しました。



登録医会議(症例検討会) ZOOM 開催



今回の症例検討では、基幹病院での症例についてご報告頂きました。中頭病院腎臓内科の與那嶺 怜奈先生からは『血尿 ~IgA 腎症 / IgA 腎症の治療中断から透析導入』について、県立中部病院腎臓内科の末田善彦先生からは『eGFR 異常 / 軽鎖沈着病』の症例について、オンライン参加の皆様と意見交換を行いました。

参加者は 81 名 (CKD・糖尿病性腎臓病登録医 8 名、腎臓専門医 4 名、登録外医師 4 名、コメディカル 54 名、職種不明 11 名) でした。



市民向け情報発信について

世界腎臓デーにうるま市はうるみん 3 階に、沖縄市は市立図書館に展示コーナーを設け、重症化予防の啓発活動を行いました。レシピ検索サイト「cookpad」では減塩レシピの紹介等を実施しています。



うるま市



317 レシピ掲載
(R5.4 月時点)



レシピ集

「健康&美腎レシピ」発行

沖縄市



422 レシピ掲載
(R5.4 月時点)

「減塩レシピ」

紹介しました♪

3 月

CKD

市民公開講座

○中部地区医師会 常任理事 仲地 健先生

『うるま市・沖縄市の
生活習慣病について』
(10:00)



『とっておき!
生活習慣病の予防について』
(6:33)



○すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司先生

『慢性腎臓病(CKD)と
予防について』
(10:57)



僕も出演しています♪

ご視聴後、アンケートの
ご協力をお願いします。



生活習慣病と CKD(慢性腎臓病)の予防啓発等を目的に、病診連携・評価委員の砂川先生と仲地先生を講師として、YouTube を活用した動画を収録し、現在公開しています。

糖尿病専門医として仲地先生からは生活習慣病の知識や予防法、腎臓専門医として砂川先生からは CKD(慢性腎臓病)の知識やちゅらま〜み(腎)プロジェクトの紹介など、分かりやすい講座となっています。

左 QR コードから動画の視聴が可能です。



ちゅらま〜み事務局よりお知らせです。



R5 年度予定

- 6 月 第 1 回コメディカル情報交換会
- 8 月 登録医会議、第 1 回病診連携推進評価委員会
- 12 月 登録医会議(症例検討会)
- R6.1 月 第 2 回病診連携推進評価委員会

その他、ご意見・ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡下さい。

●うるま市役所健康支援課

☎(098)973-3209

✉kenkou-sienka@city.uruma.lg.jp

●沖縄市役所市民健康課

☎(098)939-1212(内 2247)

✉a47hosido@city.okinawa.lg.jp



推定一日塩分摂取量検査について【沖縄市】

別冊

●保健指導後の **二次健診** 受診者に実施。

【R3 年度 417 名(男性 250 名、女性 167 名)】

※R4 年度は実施途中の為、次回のニュースレター等で改めてお知らせします。



図1) R3年度受診者(男性 250 名)の年代別塩分摂取量

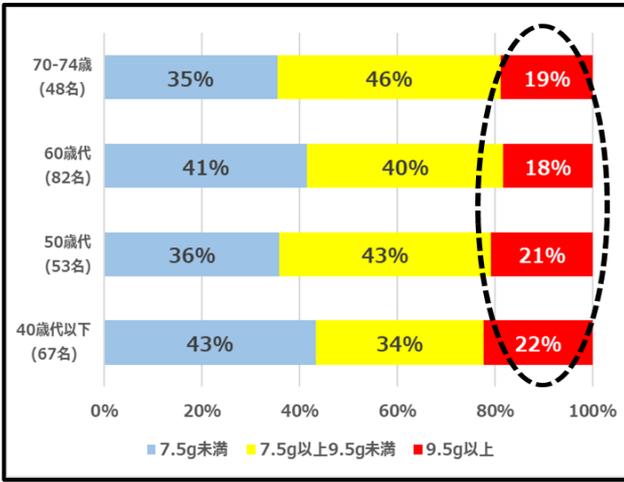
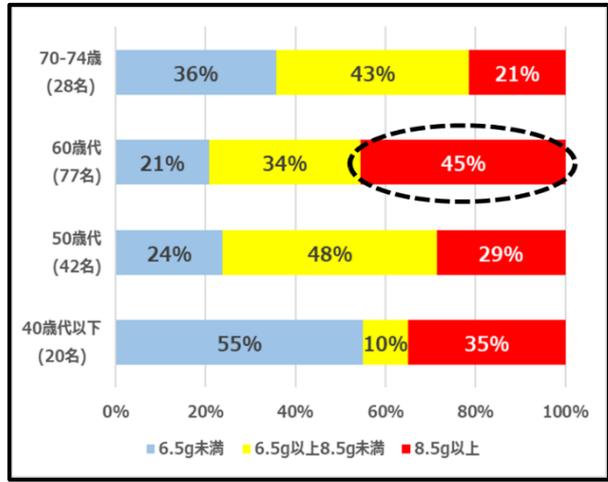
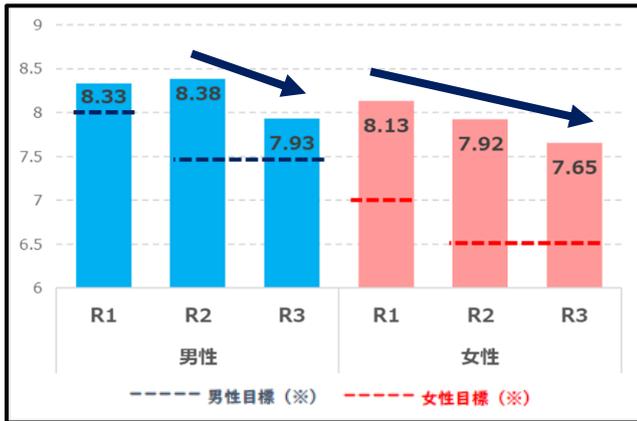


図2) R3年度受診者(女性 167 名)の年代別塩分摂取量



●R1-R3 年度の推定塩分摂取量(男女別)。

図3) 男女別平均値の推移



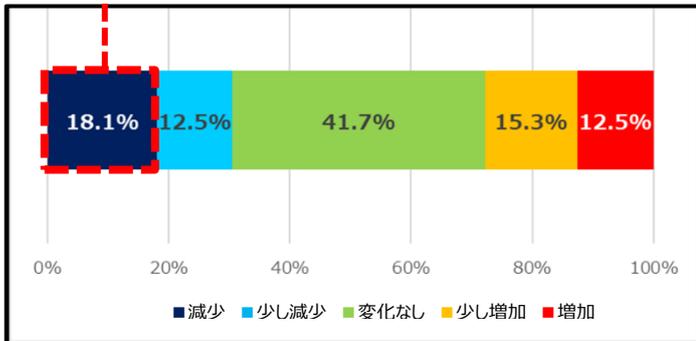
※グラフの点線は、食事摂取基準 2020 の塩分摂取目標量より

主な傾向

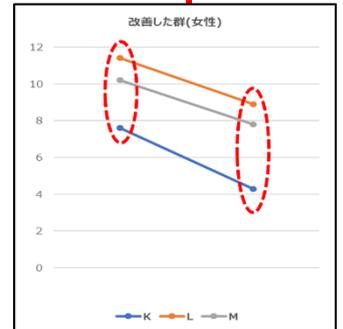
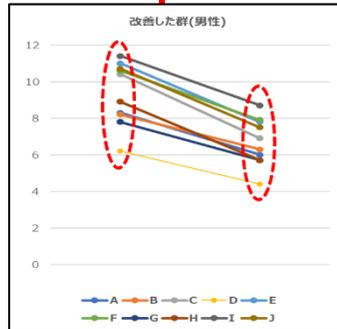
令和 3 年度受診者を男女・年齢別で見ると(図 1、図 2)、男性は全年代約 **20%**が塩分過多(9.5g 以上)、女性は **60 代**で **45%**が塩分過多の傾向が見られました。R1-R3 年度の比較(図 3)では、男女ともに摂取量の目標値(点線)を上回っていますが、年々減少傾向です。R2-R3 年度連続して検査を受診した者の比較(図 4)では、塩分摂取が減少群(-20%以上減)13 名(18.1%)で、そのうち、改善が大きかったケースの特徴では、男性は汁物や漬物、お惣菜の頻度等が改善していました。女性では野菜と果物摂取で減塩とカリウム摂取に取り組み、塩分だけでなく血糖値の改善にも繋がったケースがありました。

●R2-R3年度に、連続して塩分摂取量検査を行った者(72名)を比較してみました【図4、4-①、4-②】。

図4) R2-R3 年度継続受診者(72 名)の変化率



■減少(-20%以上減) ■少し減少(-19%~-10%)
 ■変化なし(-9%~9%) ■少し増加(10%~19%)
 ■増加(20%以上増加)



推定一日塩分摂取量検査について【うるま市】

●**集団健診受診者** に実施。【R4 年度 4,707 名(男性 2,094 名、女性 2,613 名)】

※R4 年度は、実施途中 (R4.12 月時点) の為、次回のニュースレター等で改めてお知らせします。



図1) 男女別平均値の推移

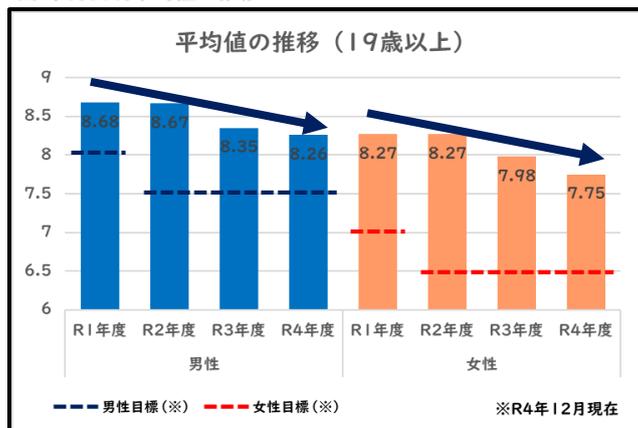
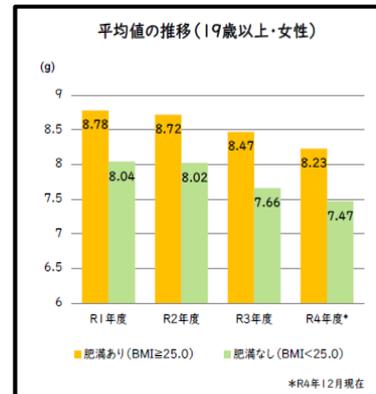
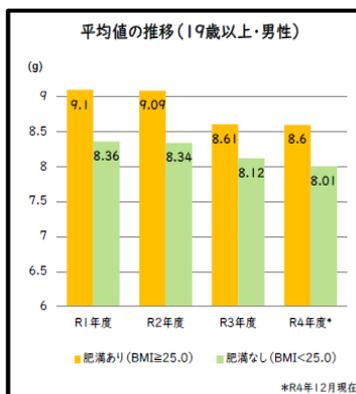


図2) 肥満の有無別 平均値の推移



※グラフの点線は、食事摂取基準 2020 の塩分摂取目標量より

●**R1-R3 年度 3 年連続で塩分摂取量検査を受けた者 (1,006 名) を比較してみました。【図 3、図4-①、②】**

図3) 継続受診者の平均値の推移

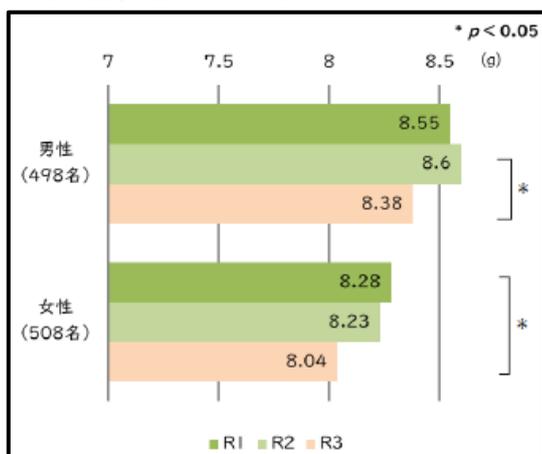


図4) R1 年度と比べて、R3 年度の変化 (減少-変化なし-増加など) 別の割合

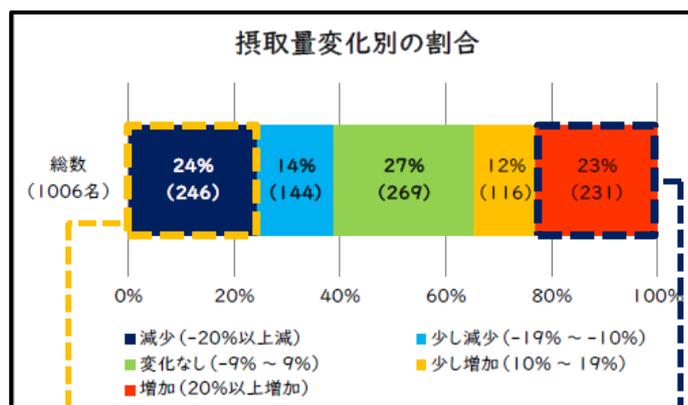


表1)

塩分摂取20%以上減少群 (n=245)			
	改善	維持	悪化
収縮期 血圧	34% (84)	50% (122)	16% (39)
拡張期 血圧	22% (53)	68% (167)	10% (25)

表2)

塩分摂取20%以上増加群 (n=231)			
	改善	維持	悪化
収縮期 血圧	18% (41)	43% (99)	39% (91)
拡張期 血圧	13% (31)	68% (157)	19% (43)

主な傾向

男女別で推定塩分摂取量検査(図1)を見ると、令和4年度は男性**8.26g**、女性**7.75g**と、目標値は超えています。年々減少傾向です。肥満の有無別(図2)を見ると、肥満有りが無しに比べて摂取量が多い傾向が見られますが、こちらも全体的に年々減少傾向です。

令和元年度～令和3年度までの継続受診者(図3)のうち、令和3年度の推定塩分摂取量を見ると、男性は令和2年度と比べて有意に減少し、女性は令和元年度と比べて有意に減少しています。また、塩分摂取量の割合のうち(図4)、減少群(20%以上減少。表1)では、増加群(20%以上増加。表2)と比べて血圧の改善率が高く、悪化も少ない傾向がみられました。

今後も引き続き、集団健診での推定塩分摂取量検査を継続し、市民の減塩意識を促す取り組みを行っていきます。